

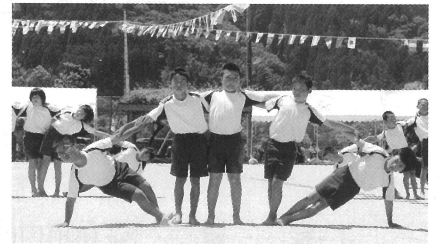
「不易流行」

「よき伝統を守りながら(不易) 進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって、

「理想」を創造する」

「江府小学校運動会で感じたこと」

江府小学校の運動会の翌日に原稿を書いていきます。運動会は汗ばむような天気の中で行われました。私は日野町で開催された「平和観音祈りの集い」に参列した後、会場に行きましたが、すでに、熱く盛り上がっていました。親子で参加するプログラムも多く、和気あいあいとした雰囲気は、いつまでも大切にしたいものの一つです。特に感動したのは、高学年による組体操「押忍、江府魂2017」です。子どもたちは一致団結協力して、きびきびと元気に、見事な演技を披露してくれました。素晴らしい。来賓も参加して全員で行ったおどり「南大山小唄」は、練習不足を痛感しました。ちゃんと踊っている人に見よう見まねでついていきましたが、一度きちんと練習しておかないといけないと思



ました。こうした行事に参加して、子どもたちの元気な姿や、それを嬉しそうに見守られている保護者の皆さんの様子を見るにつけ、この子どもたちを大切に育ててあげることが町の未来につながると感じています。さて、本年度町では職員が集落に出かけて行き、それぞれの集落の課題や、将来ありたい姿について、一緒に考えていく「集落総合点検事業」を行います。集落の役員さんはもちろんのこと、それ以外にも中学生以上の多くの皆さんからご意見ご提案をいただき、今後の施策に活かしていくように思っています。後から思いつかれたことでも、担当職員に申しつけていただければ結構ですので、お気軽にお話しください。

住民の皆さんと行政の距離を近くして、どうすれば住みよい町になるのか、協力して考えていきましょう。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム報告



今後はみなさんのご意見を聞きながら、その想いを一つでも多く形にしていくことで親しみやすい庁舎を考えていけたらと思っています。

6月9日には第1回公開会議として住民のみなさんと親しみやすい庁舎について考えます。今後もういった機会を作っていきますのでぜひご参加ください。

二つ目は業務改善です。住民のみなさんとの距離をもっと近づけるには一人ひとりに寄り添った対応を心掛ける必要があります。また職員同士で今の職場環境について意見を出し合い、楽しく元気で働いていける場所を創り上げていきたいと思

今年度の3000人の楽しい町プロジェクトチームは3つの取り組みを考えています。

まず一つ目は役場庁舎の建築です。築60年を超える現在の役場庁舎が抱えている問題はたくさんあります。ですが、新しい庁舎を建てればすべて解決するというものでもありません。住民の皆さんが今まで庁舎を利用される中で不便に思われたことやこんな機能が庁舎にあつたらなど、感じられたことはありませんでしょうか。

最後に三つ目は集落総合点検事業です。集落のみなさんがどう暮らしていきたいのか、集落にはどんな課題があるのかを掘り起し、解決に向けて一緒になって取り組んでいきます。この取り組みは職員全員で取り組ましますので、皆さんのご意見をぜひ聞かせてください。

3000人の楽しい町に向けて一緒に取り組んでいきましょう。

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。